



untitled

<http://www.kana-pie.com>

「untitled」 肩書や、形にとらわれず、自由に広がりのある活動を目指して・・・

神奈川県社会福祉法人経営青年会通信

contents

神奈川県で事業展開した法人に聞く — その実践と地域性の違いについて —	・・・ 1・2・3面
活動報告 — 平成26年度第1回総会・研修会 —	・・・ 3・4面
お知らせ — 今後の予定・新入会員紹介・会員状況 —	・・・ 4面

神奈川県で事業展開した法人に聞く — その実践と地域性の違いについて —

ここ数年、神奈川県外に本部がある法人が神奈川県に施設を開設し、その法人経営に携わる役職員が経営青年会に入会しています。そこで今回、平成24年4月に「特別養護老人ホーム 相模原敬寿園」を開設した敬寿会の金澤敬祐施設長と平成24年6月に「特別養護老人ホーム ケアプラザさがみはら」を開設した蓬萊会の大塚小百合施設長に、神奈川県で事業展開した理由と法人本部がある県との違いなどについて話を聞きました。

■ 二つの法人はどんな法人？

最初にお二人の所属する法人を紹介します。

金澤施設長の所属する敬寿会の本部は山形県にあります。平成7年4月に「軽費老人ホーム ケアハウス山形敬寿園」を開設、在宅サービスとともに事業を開始し、現在、山形県、東京都、宮城県、埼玉県、神奈川県で高齢者福祉事業を展開しています。神奈川県で運営している施設は平成20年5月に開設した「横浜敬寿園」と自らが施設長を務める「相模原敬寿園」で、それらの施設を含め、特別養護老人ホーム5施設、小規模特別養護老人ホーム3施設、ケアハウス2施設、グループホーム2施設、小規模多機能型居宅介護事業所3ヶ所、その他介護保険制度における在宅サービスを多数運営しています。今年度で設立20周年を迎え、9月には記念式典が開催されました。



ケアハウス山形敬寿園



高齢者総合ケアセンター 蓬萊

大塚施設長が所属している蓬萊会の本部は徳島県にあります。昭和55年4月、「高齢者総合ケアセンター 蓬萊」を開設、設立30年を超える歴史ある法人です。現在、徳島県、神奈川県、東京都で高齢者福祉事業を展開し、神奈川県では自らが施設長を務める「ケアプラザさがみはら」を運営しています。特別養護老人ホーム4施設、ケアハウス2施設、グループホーム1施設、その他介護保険制度における在宅サービスを多数運営し、地域福祉を担っています。東京都の特別養護老人ホームとケアハウスは、今年の3月に開設したばかりです。

■ なぜ、神奈川県に？

一番気になる「なぜ、神奈川県内に施設を開設したのか?」、お二人に聞いてみました。

金澤施設長は最初に「創業者である前理事長の金澤敬一氏が他界しているのですが、分からないところが多くあります。」と前置きした上で、「平成14年2月に厚生労働大臣の全国法人の認可を取得したことが大きいのではないのでしょうか。平成7年4月から山形県で事業を開始して以来、山形県内だけで事業展開をしていました。しかしながら、全国には本部を設置している以外の都道府県で事業を行っている法人が多く存在します。山形県内には全国法人の認可を取得している法人は存在していませんでした。そのような中で、前理事長は山形の高校を卒業後、警視庁での勤務を夢見て上京し、15年余り関東近辺で生活した経験があり、それが関東圏で事業を展開する大きなきっかけだったと思います。現在も山形県内には全国法人の認可を取得している法人は敬寿会以外存在しません。それは山形県内の法人の理事長等が他の都道府県で生活した経験がないからだと思います。また、前理事長は法人の規模拡大（スケールメリット）を重視していたことから、地域の土地調査等を行っていたことも1つの理由です。」と話していただきました。



相模原敬寿園



ケアプラザさがみはら

大塚施設長は「相模原市の施設公募があった際、当法人は開設より30年を迎えたところでした。平成15年に徳島県での2拠点目を開設してから15年が経過し、法人の経営も安定した頃でありそろそろ新たな社会貢献事業をと考えていましたが、徳島県は介護保険施設定員数が全国1位で施設が充足しているということ、地域としては過疎化の一途をたどっており地域のニーズにも疑問がありました。当法人の常務理事が全国の様々な福祉団体の役員として関わっていたことから、徳島だけに限らず俯瞰的な問題に触れる機会が多く、超高齢社会における首都圏の施設不足という深刻な問題を考えるようになりました。より大きな地域社会のニーズに応えるべく関東地方を視野に入れ新規開設を検討していたところ、常務理事の母校のある相模原市の公募を知り、できることなら縁のある土地の福祉に寄与したいという思いから申し込みをさせていただいた結果、選定の運びとなり、この地に施設を構えるに至りました。」と話していただきました。

■ 神奈川県での施設運営は？

お二人の所属法人とも神奈川県で施設を開設して約2年半が経過しました。神奈川県での施設運営の感想を聞いてみました。

金澤施設長は開設当初を振り返り、「見知らぬ土地での施設開設に対する不安、人材の確保等は大きな課題でした。しかしながら、経営青年会の会員や神奈川県内の施設関係者に助けていただけて何とかここまで運営できてきました。神奈川県において2つの施設を運営できていることは法人にとって非常に大きなことであり、すべての関係者の方々に感謝しています。」と話され、「山形県では神奈川県ほど法人どうしの結びつきは強くないと思います。経営青年会はありません。これは神奈川県のみだだと思います。自分も神奈川県に少しでも貢献して、恩返しをしていきたいです。」とお褒めの言葉をいただきました。あまり施設運営については聞けませんでした。金澤施設長の人柄が出たお話でした。

大塚施設長には徳島県での施設運営との違いについて質問すると「私は当施設の準備、運営から当法人に勤め始めましたので、比較と言われると難しいところもあるのですが、驚いたことは開設当初に職員やご利用者、ご家族に関わる問題が起こった場合に徳島の施設長などに助言を求めると、「徳島では30年の間そのような問題は起きたことがない」という回答が多かったことです。それだけこちらの方々は権利意識が強く、また地域の方がほぼ顔見知りの田舎とはまた違った人間関係の難しさを感じました。また、産業が多く、景

気も回復の傾向にあることから福祉業界への職員確保の熾烈さも想像以上であり、苦勞いたしました。しかしながら、地域のボランティア活動などは徳島と比べ非常に活発であり、当施設も様々な機会において恩恵を受けております。」と答えていただきました。

■ 神奈川県での生活は？

最後に神奈川県やその近郊での私生活について聞いてみました。

金澤施設長は「前職を入れると約7年間、神奈川県近郊で生活していますが住みやすいです。山形県も好きですが、最近は街も人も活気がなくなっているように感じます。神奈川県は遊ぶ場所もたくさんあり、何よりも活気があります。お金を使う場面もたくさんあるので、一生懸命働こうというモチベーションにもなっています。」と前向きなコメントをいただきました。

大塚施設長は「当初は友人も少なく、関西での生活が長かったのでホームシックになっていましたが、現在では公私ともにこちらでの繋がりが強くなり、良き先輩や友人に恵まれ楽しく生活を送っています。神奈川県は横浜を代表とした都会のイメージを持っていましたが、施設のある相模原市は山、川の自然に囲まれ、なんとなく徳島と似通った印象があり落ち着きます。もともと田舎育ちで自然が好きなこともあり、関東は登山向きの山が多いことから3年ほど前に山ガールデビューを果たし、今年は念願の富士登山を達成することができました。それ以外にも最近ロードバイクやマラソンを始めるなど、なぜか大自然のある徳島にいた頃よりアウトドアの機会が多くなっています。」と話され、活動的な大塚施設長らしいお話でした。

金澤施設長、大塚施設長、ご協力ありがとうございました。

【総務・広報委員 福原高洋】

活 動 報 告

平成26年度第1回総会

平成26年6月17日(火)13時からホテルキャメロットジャパンにて、平成26年度第1回総会が開催されました。最初に、西山会長から、社会福祉法人の置かれている立場や今後、今年度の2月開催予定の関東甲信越静ブロック経営青年会総会・研修会の会員協力などの内容のあいさつがあり、次の議案が提案されました。

- 第1号議案 平成25年度事業報告(案)について
- 第2号議案 平成25年度収支決算(案)について
- 第3号議案 その他

審議の結果、すべての議案が承認されました。

議事終了後、平成25年度をもって卒会された方への感謝状の贈呈を行いました。



会長から感謝状を受け取る藤田様

最後に新入会員の紹介を行い、13時40分に終了いたしました。

平成26年6月17日(火)13時からホテルキャメロットジャパンにて、平成26年度第1回総会が開催されました。最初に、西山会長から、社会福祉法人の置



総会風景

対象者は次の方たちです。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 石井和弘 様 (伊勢原愛児園) | 金本高明 様 (明友会) |
| 白石玲子 様 (平成会) | 菅原里美 様 (中心会) |
| 西迫 哲 様 (神奈川やすらぎ会) | 藤田理恵 様 (愛慈会) |
| 吉本すま子様 (ひまわり福祉会) | |

ご出席いただいた金本様、藤田様にごあいさつをいただきました。長い間、会の発展のためご尽力いただきありがとうございました。皆様の今後のご活躍と所属法人の発展をお祈りいたします。

【総務・広報委員 福原高洋】

総会研修会

総会に引き続き神奈川県社会福祉協議会経営者部会と合同の研修会を行いました。近年、メディアで盛んに取り上げられるキーワード「ブラック企業」についての専門家であり、テレビ・ラジオ・ウェブニュース・雑誌・書籍等で精力的に活躍されております新田龍氏をお招きして、ご講演をいただきました。

労務トラブル防止のためブラック企業の定義や労働法令のポイントを分かりやすく整理し、労働環境の改善によるモチベーションアップの手法など、経営者と職員が理念と運営を一体化し、本当の意味での優良企業を目指すための考え方について、ご自身の経験や他企業での成功事例を挙げながらお話いただきました。

この講義を通じて、ブラック企業にならないためではなく、企業の使命感を共有することと、法令順守の姿勢が伝わるかが大事であり、職員の主体性を引出し優良企業として社会に貢献することが経営の醍醐味であると再認識させられました。



講演する新田氏

【研修委員 山本隆史】

お知らせ

今後の予定

予定されている研修会や大会です。詳細については、案内書、またはホームページでご確認ください。

開催日	場所等	テーマ等
平成27年2月5日(木) ～6日(金)	キャメロットジャパン	関東甲信越静岡ブロック社会福祉法人 経営青年会総会・研修会

新入会員紹介

新たに入会された会員をご紹介します。

多くの方の入会、ありがとうございます。

谷 章子 様 (つちや社会福祉会) 牟田口 要 様 (青い鳥)

柿原 建男 様 (白百合会) 小澤 亮太 様 (東洋会)

佐藤 公博 様 (神奈川県社会福祉事業団) 平本 剛士 様 (さくら会)

松井 正志 様 (光友会) 小田嶋 悟 様 (光友会) 本田 早瀬 様 (中心会)

成岡 依子 様 (中心会) 中和 伸弘 様 (中心会) 大谷 綾佳 様 (中心会)

下鳥 善男 様 (中心会)

会員状況

会員数 87名 法人数 64法人 (平成26年8月末日現在)

編集後記

「神奈川県で事業展開した法人に聞く」、初めてこういったインタビュー形式の記事を試みました。見知らぬ土地で新たな施設を運営することは、想像を超える苦労があると思います。それを乗り越え、軌道に乗せることができたのは、二人の明るさと前向きな気持ちが1つの理由ではなかったのでしょうか？それを記事の中で感じていただけると幸いです。お二人、本当にありがとうございました。(high-ocean)

発行／神奈川県社会福祉法人経営青年会

連絡先／〒221-0844

横浜市神奈川区沢渡4-2

神奈川県社会福祉会館内

(福) 神奈川県社会福祉協議会
福祉サービス推進部ライフサポート担当

電話：045-311-8753

Fax：045-320-4077